

当地域の景気動向

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました（2020年11月30日現在）。

①最近の管内総合経済動向（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

（9月公表要旨）

管内の経済活動は、低迷しているものの、生産面に持ち直しの動きがみられる。

- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・個人消費は、弱まっているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、増加しているものの、伸びは鈍化している。
- ・公共投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・住宅投資は、弱い動きとなっている。
- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用は、需給が緩和している。

②愛知県の景気動向（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

（8月期要旨）

愛知県の経済は、景気動向指数（CI一致指数）は、下げ止まりを示している。

③中小企業景況調査（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/sanro/keikyo/top.htm>

（7～9月期要旨）

中小企業の景況感、厳しい状況にあるが改善の兆し

-来期も業況判断、売上及び採算の各D.I.で前期実績を上回る見通し-

④東海3県の金融経済動向（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

（9月公表要旨）

東海3県の景気は、厳しい状態が続くなかでも、改善の動きがみられている。

⑤OKB景況指数（OKB総研）

<https://www.okb-kri.jp/cyousa/research.html>

（9月期調査要旨）

景気の水準：厳しい景況感が継続。緊急事態宣言中に実施し、リーマンショック以来の低水準となった6月期調査に比し、経済活動の再開による持ち直しの動きは見られたものの、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、本格的な活動再開からは遠く、限定的なものとなった。

景気の方角：大きな落ち込みからの持ち直しはあったものの、新型コロナウイルスの収束時期が見えない中、先行き不透明感は強く、弱気な見通しが広がっている。

以上